

伝統の襷(たすき)渡し

先週の6年生お別れ集会の中で襷渡しについて紹介しましたが、その中で6年生がどのような思いが込めて、5年生に襷を託したのかを紹介します。

私たちは3月21日に卒業します。これまで私たち6年生は学校のリーダーとして足りなところもありましたが、何ができるのか考え一所懸命に行動してきました。今度は、5年生の皆さんが、帯山西小学校を引っ張っていく番です。これは、最高学年の「4つの心」の襷です。

帯西レッド:「やりぬく心」何事もくじけず、高学年になった時のやる気を忘れないようにしましょう。そして、自分たちで決めたことを最後までやり遂げてください。

帯西グリーン:「元気な挨拶をする心」挨拶は自分の心も周りの人の心も元気にします。挨拶の力と助け合いの力で帯西をさらに挨拶いっぱい笑顔いっぱいの学校にしていってください。

帯西イエロー:「役割を果たす心」自分の役割を責任を持って果たし、仲間とともに協力しましょう。そして、大きな目標が達成できる帯山西小学校にしてください。

帯西ブルー:「わくわくする心」今年も全校かくれんぼやたてわり班でのイベント、各委員会のユニークな取り組みなど、わくわくすることがたくさんありました。これからは、私たちを超えるようなアイデアでこの学校をわくわくする学校にしていってください。

【そして、襷は6年生から5年生の手に引き継がれ、5年生のお返しの言葉となりました】

私たちが6年生の伝統と「4つの心」を引き継いでいきます。

やり抜く心:私たちが諦めず、挫けず、どんなときでも最後まで最高学年として帯西を引っ張っていきます。

元気な挨拶をする心:私たちが共に助け合い、挨拶が溢れるような帯西にしていきます。

役割を果たす心:帯山西小学校の伝統を引き継ぎ、委員会やボランティアなど帯西のために任された役割をしっかりと果たします。

わくわくする心:私たちが最高学年のリーダーとして、6年生の皆さんのように、帯西がもっと「わくわく」するような学校にしていきます。

「4つの心」をしっかりと受け取りました。私たち5年生に任せてください！



6年生の思いは、4月からのリーダーである、5年生にしっかりと引き継がれていきました。この襷渡しのときは、例年、体育館の空気がピリッと引き締まります。これは、5年生だけではなく、下級生の子供たちも6年生の思いを受け止めようとしている証だと思います。子供たちそして、先生たちとで、卒業生が帯西を誇りに思ってもらえるように、この学校をもっとわくわくする学校にしていきたいと思いました。

本の寄贈

今日17日(月)に、熊本西稜ロータリークラブの皆さんが来校され、校長室にて図書
の寄贈式が行われました。子供たちが読みたい本等を図書の市野瀬先生に選定し
てもらい、総数60冊もの図書の本を寄贈していただきました。またそのお礼として、
図書委員会の子供たちを中心にお手紙も書いてもらい、渡すことができました。
子供たちには新しい本との出合いが待っています。このような図書室充実の為の寄贈は、
たいへん有り難く思っています。

